

## おみやげは、「新たなえにし」o(^o) (o^^o) (o^^)o

### ◆「えにし」出生の秘密◆

福祉と医療・現場と政策の「新たなえにし」を結ぶ会は、2001年5月12日、ここ、プレスセンターで誕生しました。制度や予算の壁にぶつかりながら道を切り開いている当事者や現場スタッフ、現場に学んで制度や政策をつくろうとしている行政官、首長、勉強熱心なメディア、研究機関のみなさん、あわせて、450人。

ところがw(°o°)w。。。お互い知り合っていなかったのです。それに気付いた方々の間に、この日、不思議な「えにし」が結ばれました。そして、毎年、「新たなえにしを結ぶ会」が開かれることになり、ことし、第12回を迎えました。

### ◆糸へんづくし◆

胸元の名札の上下、このページの上下の縁飾りにお気づきになりましたか？ 拡大すると、

緑…絆…緑…絡…緑…紡…緑…編…緑…網…緑…繋…緑…繰…緑…紮…緑…紀…緑…紗

「緑」という字のあいだに糸へんの字がはさまれています。グラフィックデザイナーの牧口一さんが、つどいのために、デザインしてくださいました。メッセージが添えられていました。

「人間っていろんな糸へんが絡みあい、紡ぎあって、編まれているんですね。ネット（網）とか、繋がるとか。人と人の絆や縁に不思議なパワーを感じています。どうぞいつまでも継続していただけますように。結び。……な～んちゃって」。糸へん飾りのついた名札は、ケースからはずして記念に、どうぞ(^\_-)☆。

### ◆「えにし」のホームページと「えにしメール」と◆

志をつなぐ道具は、えにしのHP、<http://www.yuki-enishi.com/> と「えにしメール」、そして、年に1度の「えにし」のつどいです。

「えにしメール」は、マスメディアではあまり報じられない、でも大切な、「えにし」のみなさまの活躍をお知らせし、様々な分野を繋ぐための試みです。2001年には30通だったのが、いまは、米、英、仏、独、伊、北欧諸国、マレーシア、ウガンダ、韓国…と、広がって5000通に近づきました。100人のMLに転送してくださっている方もいたりして、輪は思いがけないほど広がっています。

「えにし」のつどいも変わりました。第1回、メディアは朝日新聞、お役所は厚生労働省でした。きょうの名簿をごらんになると、あらゆる種類のメディア、そして、文部科学省、財務省、国土交通省、経済産業省、内閣府、自治体のスタッフ、市町村～国会議員と多彩になりました。偲ぶ会は「えにし風に」と遺言する方も。

「えにし」の方々をご紹介してきた「えにし」のHPの3つの部屋は『恋するようにボランティアを～優しき挑戦者たち』（ぶどう社）、『患者の声を医療にいかす』（医学書院）、『物語・介護保険～いのちの尊厳のための70のドラマ』（岩波書店）になりました。『物語』下巻には530人の登場人物の索引がついていますが、なかでも、目ざましい活躍をしているのは「えにし」の方々です。

### ◆「つどい」の4つのシキタリ◆

**その1：**毎回、多彩、豪華な「えにし」の方が登壇してくださいますが、どんなに高名な方でも、講演料ナシ。「素晴らしい参加者の前で話すことができる、それは、“権利”なのだ」という理屈からです。

**その2：**このような催しにかかせないのが裏方です。この10年間、全国コミュニティライフサポートセンター（CLC）のみなさんが義侠心で引き受けてくださっていました。仙台に本拠があるそのCLCを震災が襲いました。1年あまりたったいまも、東日本の復興のために奮闘しておられます。そこで、イベントのプロでもあるCLCに教えていただき、最高齢71歳の国際医療福祉大学大学院 医療福祉ジャーナリズム分野の院生・卒業生が裏方として走り回り、それを、様々な特技をもったボランティアのみなさまが、きょう、助けてくださっています。

**その3：**「えにし」を結ぶには、情報保障が欠かせません。プロによるパソコン文字通訳、手話、磁気テープ、指字字を用意することが慣例になりました。詳細は、「えにし結び名簿」の最終ページをご覧ください。

だれもが参加できるように、介助者からは参加費をいただかないのも慣例です。お子さまづれへの支援も始めました。

**その4：**席は、籤引き。「新たなえにしを結ぶためです。話の糸口になる「名札」と「えにし結び名簿」を用意しました。

恋が偶然の機会から生まれるように、名簿と胸の名札、そして、籤で偶然近くに坐った方と、日本を変える「えにし」が結ばれますように。